

1 事業概要

課名		長寿支援課	事業No.	368
会計		介護保険特別会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		認知症施策推進事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画		7	共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる
	分野別計画			介護保険事業計画
	法令・例規等			介護保険法
事業目的	対象	認知症の人とその家族		
	意図	地域における認知症ケア体制の整備		

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容					事業費(千円)	
	活動指標	・認知症本人・家族や親族、民生委員などからの相談・支援を随時実施。 ・認知症の人の介護者支援のため、認知症カフェを月2回実施。 ・若年性認知症の方の訪問による実態把握と必要な相談・支援を実施。 ・認知症初期集中支援チームによる支援・相談を実施。チーム会議を毎月1回開催。 ・高齢者おかえり安心カルテの運用をH30.2月に開始し、家族等が作成する時の支援を行っています。	医師報酬費					207
職員賃金							4,397	
旅費							7	
需用費							214	
車両保険等							49	
認知症カフェ委託料							200	
その他の経費								0
29年度決算(千円)	予算額	5,348	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	5,074	(国) 地域支援事業交付金39%					
	財源の状況	国庫支出金	1,979	(県) 地域支援事業交付金19.5%				
		県支出金	989	(そ) 一般会計繰入金19.5%				
		地方債	0					
		その他	989					
一般財源	1,117							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	5	5	3	1	30	1	5,348	5,074	認知症施策推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		認知症カフェの開所、認知症ケアパスの作成、認知症初期集中支援チームの設置、高齢者安心おかえりカルテと事業を増やしてきました。新規の相談は、100人近いが初期集中チームの該当となる件数は7人でした。							
上記の課題解決のための有効策		認知症カフェ、わたの実会の活動、集中支援チームなどを広く知ってもらう必要があります。							
次年度に向けての取り組み		認知症関連事業について、広報いいだ等を利用して周知します。							